

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	1178	(H.24)No.	1178
-----------	------	-----------	------

事務事業名	まちなか支援事業費		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
地域部	地域経営室	大西 利和	63-7484
新・継	事業期間	根拠法令等	
新規	平成 23 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
特別及び企業会計、組合	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	1	魅力的な都市環境づくり
	施策	3	市街地整備
	小施策	1	中央部のまちづくり
	重点施策コード		

2. 予算区分

会計区分	事業コード	027702
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	総務費	まちなか支援事業
項	総務管理費	(小事業名)
目	地域振興費	まちなか支援事業費

3. 事務事業の概要

事業概要
<p>平成16年度に名張市総合計画に位置付けられた「まちの顔づくりプラン」の実現に向け、多様な主体の協働により、「名張まちなか再生プラン」を策定した。</p> <p>そのプランを実現するために、平成16年度から平成20年度まで都市再生整備計画に位置付けられたまちとして、国土交通省のまちづくり交付金事業の補助金により名張地区の市街地整備事業を実施してきた。</p> <p>平成21年度よりソフト事業を展開し、継続的にまちづくりを進めていく。</p>

めざす効果(事業目的)
<p>名張の原風景と人情が息づく魅力ある中心市街地の創造を目標とし、風情ある街の佇まいや初瀬街道の街並みを磨くとともに、街歩きが楽しめるような道空間を磨くことにより、市内外の人々の交流の場として賑わいのある元気な都市空間を創造する。</p>

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画		・まちなか再生シンポジウムの開催 ・まちなか啓発用パンフレットの作成	補助金・交付金	その他 ()	
			平成25年度(計画)	平成26年度(計画)	平成27年度(計画)
			・まちなか再生組織の活動支援	・まちなか再生組織の活動支援	・まちなか再生組織の活動支援
直接事業費	0千円	290千円	200千円	200千円	200千円
財源内訳 (千円)	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他()				
一般財源	(0) 0	290	200	200	200
人工数	職員 0.03人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人
	臨時職員等				
概算人件費	(0千円) 219千円	730千円	730千円	730千円	730千円
+ 総事業費	(0千円) 219千円	1,020千円	930千円	930千円	930千円

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24	
成果指標	目標	中心市街地に魅力があると感じる市民の割合	%	57.2	53.8	50.0	48.2	63.0
	実績							
	目標							
	実績							
	目標							
	実績							

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
平成23年度は、関係者と調整の結果、事業実施はしなかった。	名張地区まちづくり推進協議会の活動や地域ビジョンとの整合を図りながら、進める必要がある。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
関係者は、まちなか再生に係る組織(団体)を立ち上げたいと考えているが、仲間を集めることが、困難な状況である。	

8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢・の場合) (4)はの場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できる	主体的に取り組む住民を主体とした組織の設立。
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	名張地区まちづくり推進協議会の活動や地域ビジョンと整合を図りながら進める。
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に係る地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ある	名張地区まちづくり推進協議会の活動や地域ビジョンと整合を図りながら進める。
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映を予定	名張地区まちづくり推進協議会の活動や地域ビジョンと整合を図りながら進める。
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない 検討余地がある	住民を主体とした組織の設立

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)
継続(事務改善)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項